



明るい家庭は「おはよう」の一声から



No.271

発行 竹田コミュニティセンター
編集 竹田広報委員会

〒910-0204
福井県坂井市丸岡町山竹田119-3
TEL 0776-67-2543
FAX 0776-67-2543
E-mail:takeda-k@city.fukui-sakai.lg.jp

第10回坂井市民文化祭



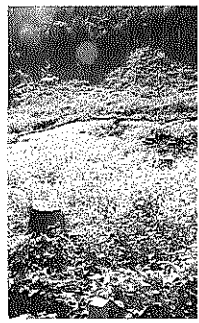
10月31日、たかむく古城ホールにおいて、竹田音頭保存会による「じょんころ節」・「ヤレヤレ節」が披露されました。
音頭取りの節回しと、踊り手のしなやかな舞いの融合・ホール内はゆったりとした空気に包まれ、盆踊りの時は遠くまで音を披露してくれました。

竹田の歴史探訪

竹田地区には、ほじんどの家に以前から「屋号」と言うものがあります。その多くは、その家の歴代の家長名が屋号となっており、のびないでしようか。
当地区では、今でも屋号で呼び合う方が少なくありません。と言うか、断然刃

いと思えます。
そこで、前々から気になっていた、天屋号の一つ。その家の歴史を、ひも解いてみたいと思えます。

焼き畑復活!



昔は、あちこちの山林で見られた焼き畑。日本でも、山を利用した焼き畑は大変数少なくなっています。今年、岡地区にその焼き畑が復活しました。
行ったのは岡・焼き畑そばの会。消防署の許可を得、以前スギ林だった山の斜面を焼き、8月23日に

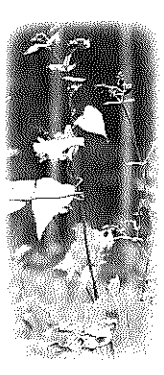
「松本さん」
なんで「かいど」?

松本恵美子(山竹田)

屋号「かいど」のいわれ

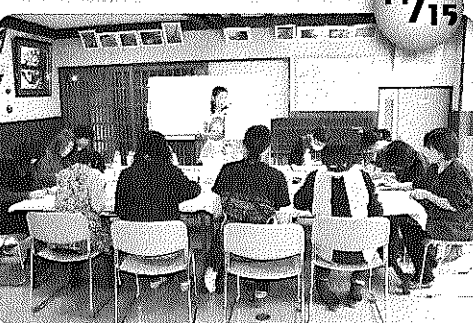
かつて福井藩として治められていたという、現在の山竹田・浅野瀬橋の所に、加賀藩と福井藩の境界地があり、この場所の規模の小さい関所、いわゆる番所があったと知られている所があります。
昔の人たちは、この場所を「あかめ」の「御番所」と言っており、このこと

リバの種まきをし、11月9日に刈取り。平地の畑と違い、実の付き方は少ないが、うでしだが、今の皆さんは収穫に満足。刈取った実を天日干しにし、石臼でソバ粉にするの事。
以前は、当たり前に行われていた風景です。時には昔に戻り、「手間ひまをかける」こと、大切なことではないでしょうか。



短期講座「ゆる筆文字」

11/15



「福井藩から拝領した槍」

この御番所に、松本家の先祖が福井藩の命により、槍二本と大銃銃を拝領し、この街道筋の番をさせられていたこと、
街道・・・「かいど」と言われるようになったこと、
聴き込んでいます。
後に福井藩の命を解かれ、槍二本と大銃銃を返還し、今は一本の槍だけを預かっています。これが当時の護身武器として、また権威の勢をあらわすものとして存在したのでしょう。時には、この槍を見ながらどんなドラマ史実があったのか、と思いをよせ、歴史の一場をひも解く機会を得ています。

2015年

時の経つのは、早いものですね。

「年の計は元旦にあり」「年の締めは師走にあり」と言われますが、今年の正月には「今年こそは」と、夢のような計画を立てました。
あうう、もう師走・・・反省の日々の師走になるのが、例年のパターン。またまた来年回しにと、自分に言い聞かせています。
しかし、これも健康だからこそ思えるものだけに感じています。
アントニオ猪木ではありませんが、「元気があれば何ができる」。皆さんも、健康には十分気を付けて、「来年こそは」と、素晴らしい計画を立て、実現に向かうため明るい日々を送っていただきたいと思えます。

(甚)

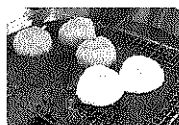
たしかめろ 火を消してから 次のこと



天気良ければ、餅まきが行われる予定でしたが、残念!



11月8日「たけだや収穫感謝祭」が、竹田水車メロデーパークで開催されました。同時に秋の竹田ウォーキングも行われ、参加者は紅葉を楽しみながら、山里を散策しました。また会場では、つきたまの餅・薬味茶の振舞いや、名物丸そば・地エゴの塩焼き・竹田米の焼きおにぎりなど、秋の味覚が満載!



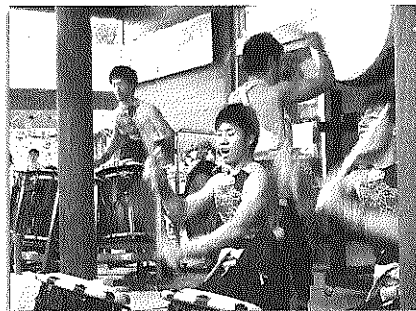
竹田のうまいもん



まつりの最後には、今年地元で収穫したもち米を使った杵つき餅が、来場者に配られました。



和太鼓「マカエのみや」



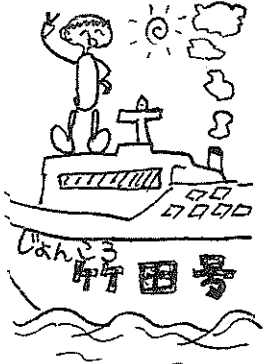
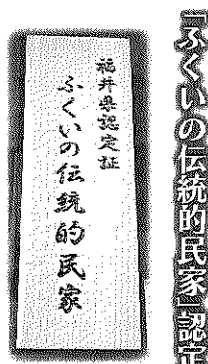
和太鼓「鼓郷」

三世交流 すこやか遠足 inびわこ



11月1日開催された、里づくり協議会・すこやか都会主催の「すこやか遠足」今年のはじめは、滋賀県へ...いざ出発!

認定を受けたのは、図記・山田祥太さん宅(前・鈴木宅)。当地は昨年度、県から「伝統的民家群保存活用推進地区」に指定され、昔からの民家が残り残っています。一般の民家とは、第1号の認定となりました。なお、認定手続きのお問い合わせは県・文化振興課へ。(TEL 2010572)



遠足には約60名が参加し、びわ湖めぐりクルーズをはじめ、安土城天主・信長の館など、秋の近江を満喫しました。船のデッキから、何が見えるのかな。

イベントガイド 行事
12月 20日(日) 各地区総集会
1月 10日(日) 坂井市成人式(ハートピア春江)
20日(水) 丸岡地区初区長会(霞の郷)

おまけ
竹田 空真さん (山竹田・29歳)
岡松 久信さん (山竹田・85歳)

なんやう、この写真真?と思われた方、実は竹田の里づくり協議会の、さか、ケーブルテレビ収録の一場面。
放送時間は5、6秒と大変短いです。何回も流すそうです。是非、ご覧ください。



「坂井さんちのこっしえるじゅ」12月からの放送予定

《おしらせ》
年末年始は、
12月29日
1月3日まで
竹田コミュニケーションセンターは休館いたします。
イラスト(石田貴久)

編集メモ
最近ある方から聞いた事ですが、「良くな、事が起きるので、早速家の鬼門になる所に南天を植えた。」何のこっちゃ?と思ってしまうと、南天は「難を転じて福となす」。いわゆる縁起木として、昔から家の庭などに植えられていたとか。
「鬼門」とは、方位でいうと北東と南西。私の家の北東にも、南天が植えてありました。信ぴょう性は分かりませんが、昔から何か理由があったのかも知れません。もう一つ、赤飯に添える南天の葉。ただの飾りでなく腐敗を抑える作用があるそうです。(邦)